

経営比較分析表（令和4年度決算）

岡山県 備前市

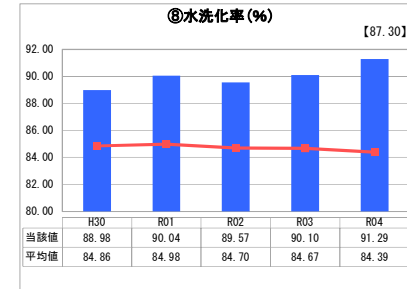
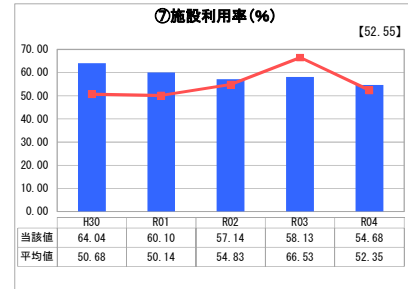
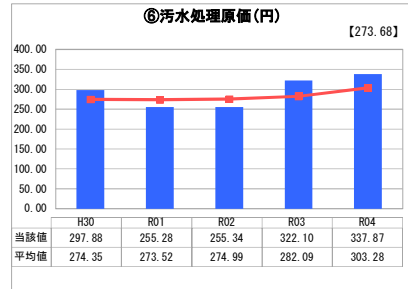
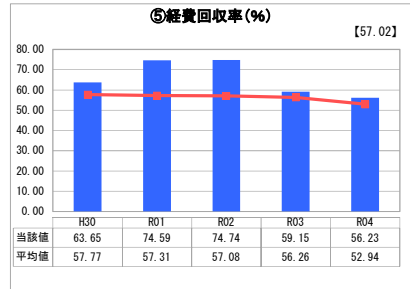
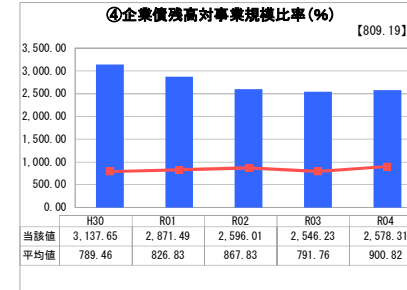
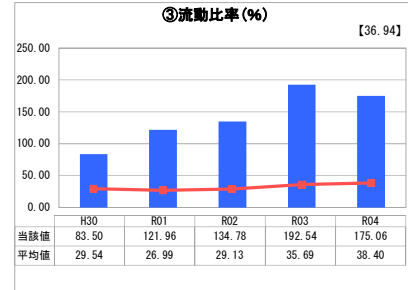
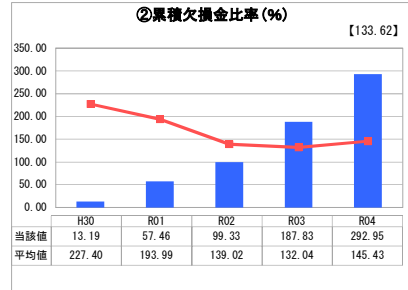
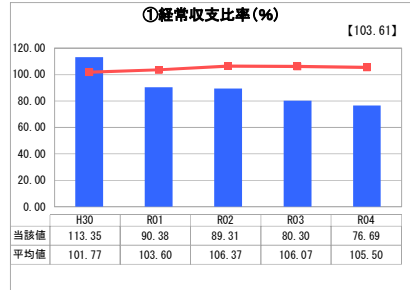
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	70.04	1.52	93.48	3,872

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,068	258.14	124.23
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
482	0.15	3,213.33

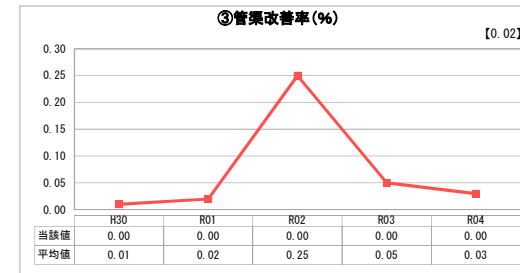
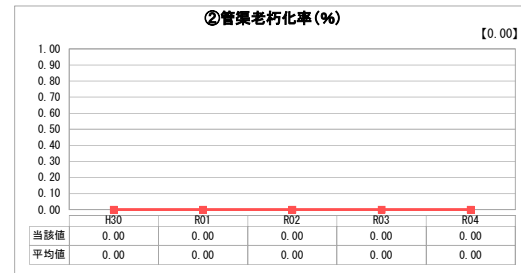
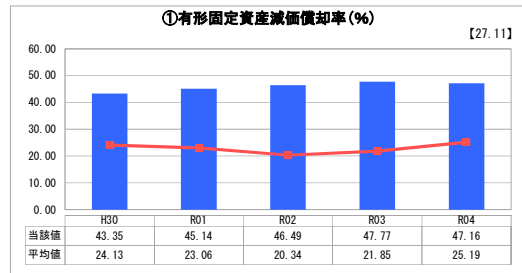
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②累積欠損金比率ともに前年度に比べて悪化した。これは一般会計繰入金の減少による。③流動比率は、未払金の増加及び未収金の減少により低下した。④企業債高対事業規模比率は、ほぼ横ばいで推移している。⑤経費回収率、⑥汚水処理原価は、前年度と同程度で推移している。⑦施設利用率は、前年度と同水準で推移している。⑧水洗化率は、前年度と比べて改善している。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値と比べて高いが、顕著な問題はない。ただし、老朽化に伴う修繕の増加とともに、最適整備構想における機械施設の更新も予定していることから、財源確保に努める必要がある。

全体総括

安定的な運営を図るため、H28年度に策定した経営戦略により経営改善に努める。
具体的には、企業債を活用するとともに、未接続世帯の解消を促進し、使用料収入の確保、施設等の長寿命化や計画的な更新、修繕計画の策定、費用の平準化を図り、経営改善に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。